



# さくらんぼだより

8月号

平成29年8月1日

社会福祉法人 北社福祉会 西多賀チェリー保育園

## 心は一つ…大盛況の夏まつり

梅雨明けを思わせるような暑い日差しの中、園庭で遊ぶ子どもたちが見つけたのは、真っ赤に熟したスモモ、夏野菜のトマト、そして今が食べごろのブラックベリー…。

高～い木の上でたわわに実っているスモモ…何とか食べたい子どもたちは、木の下でジャンプをしたり捕虫網で枝をゆすったり…。結局、保育士を呼んで取ってもらい、皮をむく保育士の周りに群がっては次々パクリ、パクリ！食べごろになった畑のトマトやキュウリも水分をたっぷり含んでいて、水分補給には最高！猛暑といわれる今夏ですが、子ども達の食欲を見ていると、夏バテには無縁かな？と思うこともあります。でも、油断することなく、体調管理を心掛けながら、この暑い夏を乗り切っていきたいと思います。

さて、夏まつりも無事に終え、子ども達もどこかホッとしている様子です。

当日、午前中は汗がだらだら出るほどの暑さで、天気予報のマークはハズレかな？と思うほどでした。職員、ボランティアさんがそろったところで、いざ、夏まつりの準備開始！！七夕の笹竹、ちょうちんなど飾り始めた途端、にわかに黒雲がモクモクと園庭の頭上に張り出し、あっという間に大粒の雨がポツリ、ポツリ…。そして、ちょっと様子を見ましようと言ってるうちに…バケツをひっくり返したような勢いで、降り出した雨。もう迷ってる時間はなく、夜店も園内でやることに決定！でも、ザリガニ釣り大会のために朝早くから天沼公園にザリガニを捕りに行ってくれたお父さんたちの努力を思うと、これ以上の雨はもう降らないで、と天に祈るような気持ちでいっぱいでした。そのかいあって、オープニングが始まるころには雨も上がり、夜店開始とともに始まったザリガニ釣り大会も大盛況！200匹以上のザリガニたちは子どもたちに次々釣り上げられていました。

昨年の反省から、人との触れ合い、つながりを大事にしながらも、地域があつてのチェリー保育園、近隣の方々へご迷惑にならないように何度も何度も話し合いを重ねて行った夏まつりでした。大きく大きく成長した卒園児たちも例年以上に多数参加して、夜店の手伝いをしながら楽しんでいましたが、子どもたちのこのような姿からも、地域に根差した、地域があつてこそその保育園であることを改めて感じました。

こうした、祭りムードの中で始まった子どもたちの演技、2歳児のかわいい“すずめ踊り”から始まり、3歳児の“乱舞”、そして、4歳児の“荒馬”、5歳児の“和太鼓”と続き、きらきらの扇子を振ったり、鳴子を鳴らしながら、元気いっぱい踊っていました。和太鼓では未完成ながらも子ども達の思いの伝わる音を心に響かせてくれました。そんな子ども達に負けじとばかり、卒園児の小学生や地域の方々、そして密かに準備をしてきていたチェリーレンジャーもウラジャの踊りの輪の中に入って、みんなが一緒になって楽しんだ夏まつりでした。

夏まつり実行委員を初め、ご協力いただいた保護者の方々、本当にありがとうございました。

2017・8・1 <園長 中館 和子>



## お知らせ



### <夏まつりご協力ありがとうございました>

7月22日(土)の夏まつりでは、実行委員の保護者の方々をはじめ、たくさんの保護者、地域の方々のご協力のお陰で活気ある楽しい夏まつりとする事ができました。地域の方々にもたくさん参加いただき、本当にありがとうございました。

### <合宿…スイミー組>

8月4日(金)～8月5日(土)にかけて、スイミー組の合宿を予定しています。詳細は、後日、お知らせします。



### <草刈隊、ごろうさまでした>

7月8日(土)の早朝に行いました西多賀三丁目南公園の草刈では、多くの保護者の方のご協力を頂きました。また、園庭の川の掃除まで行って頂き、今回の草刈隊の皆様、本当にありがとうございました。

## おねがい

- 夏季期間お休みする予定の方は、早めに送迎表に記入をお願いします。(給食食材発注のため)
- 汗をかいたり、水遊びなどで着替えをすることが多くあります。衣類、タオル等には必ず、名前を記入して下さい。
- 8月9日(水)仙台市環境出前講座ネットワークの環境学習で、仙台市より担当の方が来園し、“川に学ぼう～しぜん・ちいき・くらし～”というテーマで川の生き物を実際に見て、触れて、楽しく遊びながら学ぶ予定です。

## 行事予定

8月		行事
日	曜日	
2	火	夏まつり実行委員反省会
4	金	合宿(5歳児 スイミー組)
8	火	避難訓練
9	水	環境学習プログラム
22	火	誕生会

9月		行事
日	曜日	
5	火	発育測定
8	金	お話しの広場まつり実行委員会
15	木	お月見クッキング
19	火	誕生会・発育測定
22	金	のはらまつり実行委員会
29	金	三神峯トイレ掃除
30	土	のはらまつり



今の時代、私たちの日常生活の中には電子メディアがあふれています。テレビ、ビデオ、テレビゲーム、携帯用ゲーム、スマホ等々。乳幼児期は、こうしたメディアとの接触よりも、生身の人間と触れ合うことが何よりも大事と言われてはいますが、先日研修会で、テレビなどの電子メディア漬けになってしまい、言葉の遅れや人との関わりが難しくなった事例が紹介され、電子メディアによる影響の怖さを実感してきました。人間の脳は左脳で人の声を認知し、機械的な音、雑音、音楽は右脳で認知するそうです。中でも日本人には、自然界の音(虫の声、川のせせらぎ等)を左脳で受け止める特性があるということです。だからこそ、虫の音、鳥の音とは言わずに、虫の声、鳥の鳴き声と表現をしているということで、電子音(テレビなどから流れる音)は、人の声であっても自然界にはないものなので、右脳で処理され、脳の受け止め方が全く異なるそうです。

また、脳は場所によってそれぞれ違う働きをしますが、「前頭前野」と呼ばれる部分は、人として大事な「考える」、「判断する」、「感動する」、「気持ちや動きをコントロールする」などの時に働く大事な部分ということで、この前頭前野を発達させるためには、やはり五感を育むことが大事ということです。テレビなどを一人で見ているときには映像が一方的に流れてくるだけで、会話などの双方向のやりとりがないため、前頭前野も働かなくなりますが、子どもたちは遊びの中で何にでも興味関心を持ちます。何かを見つけるとすぐに見て、触って、その形や大きさ、触感、温度、匂いなど何でも確かめ合っています。感じ方は人それぞれなので子ども同士、時には保育士も中に入って、お互いの思いを話し合う事があります。こうした事が前頭前野を発達させ、人としてあるべき“基礎”、そして“生きる力”の基礎を培うことになっていくと言われています。

電子メディアの影響が怖いからと言って、すべてを取り去ることは、今の時代とても困難なこと。でも、何気ない時間に行うことはいっぱいあるはず。テレビ等を見る時間、ゲームをやる時間をおとうさん、おかあさんがコントロールしてあげること、そして、一緒に話したり、遊んだりして子どもたちが五感を使うような体験をたくさんしてあげること。園でも、木の実や畑の野菜を収穫したり、水遊び、泥んこ、虫探し等々、五感をフルに活用した遊びをいっぱい体験させ、子どもたちの心身の成長へと繋げていきたいと思えます。



母と子の  
絵本 棚



「だるまちゃんとかみないちゃん」

かこ さとし さく・え 出版社 福音館

ぴかぴか ごろごろ がらがらどしん……

ちいさなかみないちゃんが落ちてしまいました。だるまちゃんと仲良くなったかみないちゃんは、世代を超えて愛され続けている「だるまちゃん」シリーズの1冊、是非、手にとって見てください。



「トマトさん」

たなか きよ さく 出版社 福音館

ミニトマトにおおきなトマト。今、園庭の畑はトマトが鈴なりになっています。大好きで毎日食べているトマト……。そのトマトが主役のおはなし……さてさてどんなおはなしかな？

“子どもは人の言葉から学び育つ”

最近、子どもたちの言葉の中に時折エッ！と思ふような言葉が出てくることがあります。

ヤバイ！ ウザイ！ ムリムリ……。

意味が分かって使っているとも思えず、シクシク泣かれて、エッ！何で？と戸惑った様子になり保育士に注意されて納得(?)……。

きっとテレビ等の影響もあるのかと思いますが、一方的に流れてくる映像は、子どもの想像力、創造力、予測力等が損ねられるのではないかと考えられます。穏やかに語りかけたり、子守歌やわらべ歌等を歌いかけることで、気持ちの中に安心感、そして、心地よさを感じ取り、ひいては人との関わりにおいて、大事な思いやり、優しさ等の「こころ」が培われていくのではないかと思います。

そのためにも、絵本の読み聞かせ、わらべうた遊びをお子さんと楽しんでください。

わらべうたであそぼう

♪にゅうめん そうめん♪

にゅうめん そうめん ひやそうめん

(手首に向かって4回腕をなでおろす)

かきからちょうの ぶたやのつねこさんが

(子どもでのひらをくすぐり、次に軽くたたく)

ちんび ちんび ちんび ちんび

(子どもの腕の内側を4回、軽くつまむ)

だいこんおろしだいこんおろしだいこんおろし

(子どもの腕の内側をうたにあわせて3回、手首から肘に向けてこぶしで軽くこする)

みせですか？おくですか？(子どもに聞く)

(店と答えた時は、手のひら、奥の時は、わきの下をくすぐる)